

フィリピン語と日本語の違い

日本語を勉強する間に、日本語とフィリピン語の違いに気が付いた。みなさんの言葉と日本語にも違いがあると思う。私は両者の違いを知ったら両国の文化と歴史も習うことができると考えている。その為この作文に、日本語とフィリピン語の違いについて説明したいと思う。

日本語とフィリピン語の違いは三つのグループに分けられる。それは日本語とフィリピン語の文化の表し方、日本語とフィリピン語の文字、日本語とフィリピン語の自国での使われ方である。

まず、日本語とフィリピン語の文化の表し方についてである。日本においては雨や雪を表す単語が多い。日本では年間を通じて雨が降るため、雨の言葉が沢山発生出来た。更に日本では四季が有る為、それぞれの季節に係る言葉が沢山有る。その一例は冬の言葉である。程度や状況によって、「時雨、冬の月、木枯らし、初雪、風花」など、冬の事を表す。それぞれの言葉が、微妙に違って風情を伝える。日本では言葉に影響を与えるのは、日本では四季ばかりでなく、人々の生活も言葉に影響を与えている。例えば、農業や漁業などといったものである。成長過程によって、同じ種類の魚であっても、呼び名が変わる。これに対し、フィリピンでは環境に影響を与えられた伝統的な言葉はあまりない。つまり、フィリピンでは文化を表す単語があまりない。しかし、最近、携帯電話の表現が沢山発生してきた。特に、電話でメッセージを送る時に、これらの携帯電話の表現を使う。例えば「cu (じゃまた)、ingatz (気を付けて)、otw (行く途中)」など、普通に使われていないが、携帯電話ではメッセージを書く時にこれらの言葉がよく使われている。これはいつも携帯電話を用いているフィリピン人ならではの使い方である。今日、これらの携帯電話表現は激増している。

次に、日本語とフィリピン語の文字についてである。現在、日本においては、平仮名、片仮名、漢字の三つの文字が用いられている。漢字は五世紀頃、日本に中国語で書いてある文章で初めて伝わった。漢字は初めに、日本語の発音の代表として使われた。その使い方を万葉仮名という。つまり、意味を知らずに、音を表す為に、漢字を使用したのである。この万葉仮名を簡単にして、平仮名が出来た。同様に片仮名も発生した。現在でも、日本で漢字が使われている事で、昔の日本と中国の深い関係を理解する事が出来る。更に、平仮名と片仮名が発生する事で、日本人は昔々から創作的な人種という事も理解出来る。日本においては日本的な文字が使われているのに対し、フィリピンではローマ字が使われている。スペインに植民される前、フィリピンではインドのサンスクリットと似ている「パイパーイン」という文字が用いられていた。しかし、スペインに植民された後、パイパーインの代わりに、ローマ字を使わせるようになった。そして今でもフィリピンではローマ字が使われている。上記の事で、スペインの影響がいかに強いかわかる事が出来るにちがいない。

最後に日本語とフィリピン語の自国での使われ方についてである。ほとんどの日本人は日本語が上手に話せる。なぜ、ほとんどの日本人は日本語を上手に話せるのだろうか。それは、日本では常に日本語が使われるからである。中国人、韓国人であっても、日本に住んだら、家では日本語で話す事が多い。更に、日本の学校では、授業の時に日本語しか話さない。毎日、日本語しか使わない為、日本人は自分の言語

の能力が高いのである。日本語は外国に影響を与えても、日本語の形はあまり変化しない。外来語が多く有るが、それぞれの言葉が日本的な発音と意味を持っている。例えば、「マンション」というのは小さなアパートの意味を持っていて、英語の Mansion の意味と全然違う。フィリピンでは、フィリピン語が上手に話せるフィリピン人はあまりいない。子供の時からほとんどのフィリピン人はフィリピン語を話すのにかかわらず、フィリピン語をきれいに話せない。実はほとんどのフィリピン人は「タグリッシュ」という言語で話している。「タグリッシュ」というのはフィリピン語と英語のミックスである。例えば、「これは一般的な事だ」という文をタグリッシュに訳すると、「Ito ay common」になる。「一般的」という言葉に匹敵する言葉はフィリピン語にも有るが、英語の「common」を使用している。スペインだけではなく、アメリカの影響も非常に強いのである。

このように日本語とフィリピン語の違いについて説明した。日本では環境に関する色々な言葉で環境に密接な日本の文化を表している。フィリピンにおいては、携帯電話の様々な表現で、携帯電話好き文化を表している。日本では中国の影響で、現在、平仮名、片仮名、漢字が使われている。フィリピンでは、フィリピンの文字がスペインの影響で無くなって、ローマ字が用いられている。ほとんどの日本人は日本語が上手に話せる。ほとんどのフィリピン人は英語が上手に話せるが、フィリピン語があまり得意ではない。言語は人々のコミュニケーションの仕方ばかりではなく、その言語の自国の文化を表す。多分、皆さんの国も言語で自国の文化も表す。同様に国の言語で自国の歴史を表す。日本では今まで漢字を使う事で昔から中国は文化的に影響が強かった事が分かる。フィリピンでは今ローマ字が用いられている事で、スペインの影響がいかに強いか分かる。フィリピンでは、タグリッシュを話す事で、アメリカの影響の強さも分かる。